

tenten cafe

仲間作りと情報交換を目的とした座談会。今年度は会津地域で初めて開催しました。
病院、幼稚園・保育園・学童、グルメの情報などの情報交換が活発に行われました。

福島市

7月20日
tenten cafe@
積水ハウス福島南展示場



コロナによる自粛期間を経て7ヶ月ぶりの開催に7人の転入女性が集まりました。今回は開催場所を積水ハウス様からご提供いただき、素敵な展示場のリビングで自己紹介からスタート。小学校のPTAのことや地域の駄菓子屋さん、お仕事についてなど会話はどんどん弾みあつという間に時間が過ぎていきました。

福島市

11月19日
tenten cafe@
如春荘



この日集まってくれたのは6名。大玉村から来てくれた方も。初めての参加の方が4名いましたが、自分が紹介をしてすぐには打ち解けました。福島に転入した経緯も皆さんそれぞれで、息子さんが福島市で就職をしたのを機に、ご自身も福島市に移住されたという女性もあり、参加者同士の共通点が多くて、あっという間に会話がとまらなくなりました。

福島市

9月9日
tenten mama cafe@
信陵子育て支援センターばれぼれ



初めての「ママ会」を開催。子育て中の転入女性6人、赤ちゃんから元気な子ども達7人が集まりました。「子育て」のことと「仕事」のことを中心に情報共有しました。なかなか思うように就職活動ができないとの悩みに参加者が応える場面もみられました。

福島市

10月24日
tenten cafe大人会@
積水ハウスシャーウッド福島展示場



今年度初の「大人会」。大人だけで集まり、子どもの話以外の話をしましょう!という会です。1年ぶりの開催に、定員を超えた9人の転入女性が集まりました。郡山市や白河市からの参加も。土曜開催ということで、お仕事をされている方の参加も多かったです。

郡山市

11月12日
tenten cafe@積水ハウス郡山中央展示場

この日の参加者は9名。郡山市主催の転入女性のはやまーゼ教室からの参加者、昨年tenten cafeに参加してくださったリピート参加の方、転入女性コミュニティに入っていたもののリアルなtenten cafeには初参加の方、市役所でチラシを見て参加してくれた方など年齢も幅広く、いろんな方が集まってくれました。積水ハウススタッフさんも3名一緒に参加してくれました。転入や転勤などがある中でどうやって仕事を探し始めたのかなど、実体験から参考になるお話をたくさんありました。



郡山市

12月10日
tenten cafe@積水ハウスシャーウッド郡山展示場

郡山市をはじめ田村市や須賀川市から小さなお子様連れの方も含め9名の女性達が参加してくれました。

積水ハウスのスタッフ3名の方にもスタッフとしてではなく、一人の女性としてご参加いただきました。

子育ての情報交換をしたい方と、郡山の暮らしについて知りたい方に別れて情報交換を行いました。仲間作り、一人でも気軽に連絡を取れる方ができると一気に暮らしは楽しくなります。そのキッカケとなるtenten cafeを開催する重要性を改めて実感しました。



宅配サービスを行う「生活クラブ」さんからサンプル提供もありました。

会津若松市

10月15日
tenten cafe@lotus wood Village

初めて会津若松市にて開催し11名の転入女性が集まってくれました。この春に転入してきた方は、右も左もわからず、知り合いも一人もいない中、イベントもすべて中止になり、人と出会うきっかけを心待ちにしていたと話してくれました。その後、会津若松市に引っ越ししてきて良かった事・困ったことをシェア。良かった事でみなさんの口から出てきたのは「お米と野菜が美味しい! 景色が綺麗!」ということ。困った事や心配な事は、やはり冬の雪道運転という声が多かったです。



他の参加者のために会津若松市のおすすめの飲食店のリストを作っててくれた参加者もいました。

11月4日
tenten cafe@ふれあいハウス

11/4は場所を変えて、「ふれあいハウス」にて開催しました。当初10月15日のみの開催予定だったのですが、会津若松市さんの協力で、市政により募集を掲載してくれた効果もあり、定員を上回る応募があったので、急遽追加開催を決めました。この日も11名の転入女性が集まってくれました。猪苗代町から参加の方もいました。自己紹介後は、「会津若松でおすすめの1日の過ごし方」をテーマに、みんなどんな日常を過ごしているのかをシェアしました。おすすめのカフェやパン屋さんなどお店情報をたくさん出していました。会津若松市は土日に行ける支援センターや屋内遊び場がないようで、休みの日に子どもとどう過ごしているかという質問もありました。さらに、その中で「会津若松はチェーン店が多い」という転入者ならではの視点の話も出たのが印象的でした。その後は、前回同様、お子様連れの方とそれ以外の方でグレーピングし、情報交換をしました。



福島市

1月14日
tenten mama cafe@
信陵子育て支援センターばれぼれ



コロナ禍で開催するかどうか迷いましたが、今の状況だからこそ誰かと直接会って話がしたい!と転入ママ4人が集まってくれました。近くに頼れる親戚さえいない転入女性にとって自粛生活は大きな負担です。リアルで話すことでこんなにもリフレッシュできるんだなと今回改めて実感しました。

福島市

3月9日
tenten社会科見学@
福島県危機管理センター



昨年度、参加者にtentenで何をしたいかヒアリングして「社会科見学」がしたいという声が上がったことから実現した会。「危機管理センター」の訪問を計画しました。3月11日の直前であったことや、2月13日に大きな地震があったことから、必然的に防災についての意識が高くなつたところでの開催となりました。満員御礼の10人の転入女性たちが集まりました。

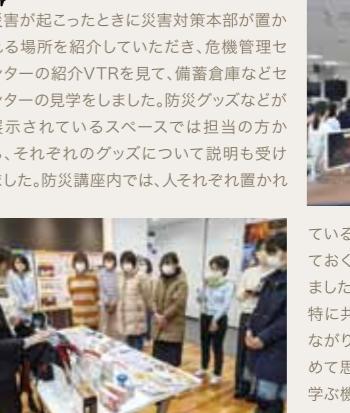
会津美里町

11月5日
tenten cafe@ニイツル森カフェ

会津の第3弾は、会津美里町での開催。会津美里町は利便性もよく、さらに町をあげて移住に力を入れていることから近年移住者が増えている地域です。この日は会津若松市や磐梯町から参加の方も含め8名の転入女性が集まってくれました。会津美里という地域は転勤族があまりおらず、結婚や移住で定住する女性がほとんどで、全員がそうでした。移住・転入してよかつたことをシェアし、お互いが知っている情報を共有したり、悩みを相談したり、会話が弾み、あっという間の2時間でした。



Pick up!!
tenten社会科見学@福島県危機管理センター



災害が起つたときに災害対策本部が置かれる場所を紹介していただき、危機管理センターの紹介VTRを見て、備蓄倉庫などセンターの見学をしました。防災グッズなどが展示されているスペースでは担当の方から、それぞれのグッズについて説明も受けました。防災講座内では、人それぞれ置かれている状況が異なるため「マイ避難」を作つておくことが大切なことを教えていただきました。また「自助」「公助」「共助」について、特に共助の大切さを学びました。人とのつながりも防災の一つの手段になると今回改めて思われました。今後も防災について学ぶ機会を作っていくと思います。

参加者の声



tenten cafe@福島に参加

2年前に生まれ故郷の大分から移住してきました。それまでは東京の広告代理店に勤務したり、中小企業や個人事業主のプランディングをしたりしていました。息子の転勤と一緒に移住しましたが、見知らぬ土地で知り合いもなく、ゼロからのスタート。県からの仕事もコロナ禍で中断し、引きこもりがちになりました。そんなとき、偶然Facebookでtenten cafeを知りました。私は子どもも独り立ちした60代で、世代的に参加して良いもの?という迷いがありました。年齢関係なく同じような境遇を持つ方々とお喋りすることができ、孤立感や不安感が薄れたひと時でした。その後もtenten cafeで出会った方からランチのお誘いをいただいて一緒にお茶をしたり、2月13日の地震の後はお互いに安否を確かめ合ったりと、tenten cafeが繋げてくれたご縁で福島生活が楽しくなってきました。代表の藤本さんのお人柄は素敵で、勇気をいただきました。みなさんの活動に感謝の気持ちでいっぱいです。

ヨシダ キミコさん



tenten cafe@郡山に参加

2019年の春、東京から郡山へ引っ越しました。話し相手のいない孤独な生活が半年ほど続いていた頃にtentenと出会い、tentenの友達に勧められて、郡山市が主催する「転入女性のはやまーゼ教室」に参加することになりました。そこで新たに16人の転入女性と知り合い、そのメンバーで地域女性サークルを立ち上げることになりました。月1の定例会の他に、カフェランチ、ピクニック、果物狩り、お菓子作りなど、参加したい人が自由に参加しています。ベビマ部、もの作り部、お酒好きのための夜の部などもあります。半年間の孤独な生活が嘘のように充実した日々が始まりました。友達ができたおかげで、郡山は私にとって生涯住み続けたい街へと変わりました。残念なことに主人の仕事により郡山を離ることになりましたが、郡山でできた友達はこれからも長く縁が続くと思える人達ばかりです。tentenから始まった繋がりを、これからもずっとずっと大切にていきます。

基礎の基礎から始める クラウドソーシングセミナー

日 時:令和3年2月26日(金)・27日(土)
参加者:19名
講 師:マルチクリエイター 筒井響子さん

昨年度大好評だった「基礎の基礎から始めるクラウドソーシングセミナー」を今年度はZOOMを使用したオンラインセミナーとして開催しました。平日開催の26日には7人、土曜開催の27日には12人の女性にご参加いただきました。参加者の半数以上が転入女性。中には福島在住ではない転勤族の方のご参加もありました。今回はオンラインでの開催ということもあり、県外の方や福島県内各地にお住いの方に参加していただくことができ嬉しく思いました。

講師は昨年度と同じ、筒井響子さん。

いわき市出身で転勤族の妻。スキルなし、コネなし、経験なしからクラウドソーシングを使ってWebライターを始め、現在は編集、さらにはカメラやイラストも受注するマルチクリエイターとして主に在宅で仕事をされています。

全員が簡単に自己紹介をした後、まずは「クラウドソーシングとは?」というところから。クラウドソーシングにはどんな仕事があるのかやサイトの種類、どんな人がどんな風に活用しているのか、仕事の受注の流れなど、筒井さんご自身の経験を踏まえて分かりやすく説明してくれました。

自分の特技や趣味、「好きなこと」で仕事をすると頑張れます!とモチベーションの保ち方のアドバイスも頂きました。できることや一見マイナスな経験さえもお仕事につながることもあるそうです。2日間ともセミナー内容は同じ。事前に作ったFacebookの非公開グループに挙がっていた参加者からの質問や、自己紹介の際の参加者の興味などに合わせて話してもらいました。



セミナー受講直後実施アンケート 回答者17名

Q1.セミナー内容はいかがでしたか?



- ほんやりとしか分からなかったクラウドソーシングについて、どんな仕組みなのか、どんなお仕事内容があるのか、知らなかった事を沢山知ることができました。
- 本当に無知の状態で参加致しましたが、とてもわかりやすく説明頂き、クラウドソーシングも自分次第ではじめられることがわかり、楽しみながらやってみたい!という意欲もわき、楽しみが膨らみました。
- クラウドワークという言葉を耳にしたことはありましたが、自分とは縁遠いものと思っていたら、しかし、筒井さんのお話を伺い、誰にでもチャレンジ出来る分野であることが分かり、まさに目から鱗でした。新しい働き方を知ることができて、大変興味深いセミナーでした。
- 結婚して子どもが出来て、いろんなことに制限がかかってくる中で、もう自分がやりたいことを自由にやることはできないかなと少し寂しい考えが巡っていました。そんな中で今回のクラウドソーシングという働き方を知り、どこにいてもどんな人生を送っていても、自分がやりたい仕事をすることはできるんだと知り、自分のこれから的人生の選択肢が広がりました。

セミナー受講1ヶ月後実施アンケート 回答者13名

(内訳:26日参加者5名、27日参加者8名)

Q1.クラウドソーシングサイトには登録されましたか?



(登録された方) Q2.クラウドソーシングサイトを通して実際にお仕事されましたか?



- セミナーに参加したことで、右も左も分からず状態から一步踏み出す勇気が持てました!今はライティングのマニュアルを教えてもらいつつ、20記事書いてみるというお仕事を受けてみました!しっかりしたマニュアルを教えてくれて、同じ依頼を受けた方々とチームを組んで行えるので勉強のつもりで今進めているところです!
- 何度もコンペに参加し、クラウドソーシングサイトでの仕事の仕方を勉強してる最中です。まだ採用はされていません。もし採用率を上げる方法など、次の機会があればまた聞いてみたいことが増えました。
- セルフブランディングを頑張りたいのですが、なかなか時間が取れないでいます。がんばります!

受託業務

さまざまな経験やスキルを持つコミュニティメンバーや、tentenライターへのお仕事の依頼を受注しました。その一例を紹介します。

ライティング

- 福島民報情報ナビTime コラム
「転入女性のtentenだより」執筆
- エフステ!ふくしま移住応援WEBマガジン
移住者インタビュー記事執筆
- monmo記事執筆



デザイン

- Life for Mothers 団体パンフレット作成
- 一般社団法人 Bridge for Fukushima インターンシッププロジェクト報告書作成
- 縁結び家系図やチラシ作成



福島市移住応援センターに任命

福島市が2019年度から新たに始めた取り組み「移住応援センター」。移住応援センターは移住希望者からの相談が市役所に入った時に、相談に乗ったり福島市民としてリアルな情報共有を行います。新たに4名が加わり、福島市内には12名のセンターが活躍しています。その移住応援センター第2期生にtenten代表の藤本が任命されました。これからは市役所とも二人三脚で移住定住支援を行っていきたいと思います。



福島市「特色ある児童教育・ 保育推進事業」選定委員に

福島市が取り組んでいる特色ある児童教育・保育プロジェクトに対して補助金支援を行う「福島市特色ある児童教育・保育推進事業」選定委員に代表の藤本をご指名いただきました。「子育てるなら福島市」を目指し、他県から移住したくなる幼稚園保育園を作ることを見据えて、他県から転入した女性目線、そして一親方目線で意見が欲しいとのご依頼でした。これまで南会津町、喜多方市、須賀川市に住んで子育てしてきた経験、そして地元である石川県の子育て環境なども踏まえて、それぞれの幼稚園保育園から提出された申請内容に率直な意見を伝えさせていただきました。

その過程で、tentenコミュニティメンバーにもどんな幼稚園や保育園があったら引越しをしてまで福島市に来なくなるかという意見をもらい、私だけでなく、tentenとしての意見を伝えることを心がけました。



オンライン福かふえ (福島県県北地方振興局主催) ゲスト参加

県北地方振興局よりお声かけいただき、オンライン移住イベント「福かふえ」にtentenスタッフがゲスト参加させていただきました。代表の藤本、スタッフの西村と眞部の3人が、「福島での暮らし」についてリアルトークをするという内容でした。私たちのおしゃべりを聞きたい人はいるのだろうか?!と不安でしたが、14人もお申込をいただき、当日は約8人の方が視聴してくださっていました。「どうやって福島という新天地で友達を作ってきたのか」、「福島の教育環境について思うこと」などをそれぞれ素直に話しているうちにあっという間に時間が来てしまいました。チャットにこの春に福島へ引っ越し予定の方から「不安だったけど話を聞いて気持ちが軽くなった」という内容のコメントをいただきました!福島のリアルな暮らしをイメージしていただけたようです。



福島県議会議員「少子高齢化・ 人口減少対策委員会」視察調査対応

11月9日、福島県議会議員「少子高齢化・人口減少対策委員会」の視察調査で、福島県議会議員さん12名に向けてtentenの活動についてお話をさせていただきました。tentenを立ち上げたキッカケ、思い、そしてtenten cafeやまちとつながる旅、地域資源を活用した雑貨ブランドの運営やtentenお仕事部などについて30分間説明しました。その後、質疑応答の時間で、議員さんたちから「転入してくれる女性たちはどんな悩みを抱えているのか」、「どんな情報を求めているのか」、「行政にできることは何か」などたくさん質問をいただきました。



復興庁

「地域づくりハンズオン支援事業」に採択

地域と組織が抱える課題の解決に向けて、支援対象団体・専門家・復興庁の「三人四脚」の連携を核にして、地域内外の多様な人々を巻き込みながら取り組み、「自走」を目指す「地域づくりハンズオン支援事業」に採択していました。約10か月間、伴走支援をしていただきました。目標に向かって課題とやるべきことを整理し、自分たちだけでは気づかない視点のアドバイスをいたしたり、悩んだ時に相談に乗ってもらえたことで、活動を発展させることができました。他の支援団体とのつながりができるのもとても有益でした。



「新しい東北」交流会に パネラー参加

「新しい東北」官民連携推進協議会(事務局:復興庁)主催の「新しい東北」交流会が2月22日に開催され、東北で活動される色々な方面の方々と一緒に会し、様々なテーマで分科会が行われました。tentenからは藤本が「復興のその先の地域づくりに、女性が生き生きと関わるには?~岩手・宮城・福島の実践例から学ぶ、地域と女性を結ぶ掛けづくり~」というテーマで岩手県の一般社団法人トナリノ若林恵さんと、宮城県のNPO法人ウイメンズアイの栗林美知子さんとパネルディスカッションをさせていただきました。



Special thanks

・一般財団法人 ふくしま未来研究会
・積水ハウス株式会社 福島支店

【まちとつながる旅】

・県庁通商店街振興組合
・OPTICAL YABUCHI
・Total Plants bloom
・食堂ヒトト
・OOMACHI GARALLEY
・PICK-UP & BarnS
・福島聖ステパノ教会
・Books&Cafe コトウ
・うろこや
・ペントノート
・anemos 長澤友美子さん
・TOKIMEKIPHOTO 古関真奈美さん
・一般社団法人 TENKIN LAB

【tenten cafe】

・信陵子育て支援センターばれぼれ
・積水ハウス株式会社 福島支店
・積水ハウス株式会社 郡山支店
・会津若松市役所
・一般社団法人 TORCH

【クラウドソーシングセミナー】

・マルチクリエイター 筒井響子さん



この事業は「2020年度ふくしま未来基金（公益財団法人パブリックリソース財団）」の助成を受けて実施しました。

令和2年度

転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクト
活動報告書

【発行日】 2021年4月

【制作・発行】 一般社団法人 tenten

<http://tenten-f.info>

info.tenten.fukushima@gmail.com

